

◆教員養成の質の向上に係る取組

・教職を目指す学生が互いに学びあう場所として、学内に「教職センター」を設置している。教育現場での経験が豊富な教職員が、教材研究、教科指導、生徒指導などについて指導を行うとともに、教科書や教職関連図書を活用した自主学習を支援し、専門性と実践力を備えた教員の養成を推進している。

・各学期に全学で実施する授業改善アンケートの結果を踏まえ、各担当教員が学生へのフィードバックを行い、授業内容及び指導方法の改善に活用している。

・本学卒業の現職教員で組織する「札幌大学教友会」が、毎年8月に本学を会場として研修会を開催している。教職を志す学生も参加し、現職教員から学校現場の現状や課題について学ぶことで、教育現場への理解を深めている。

・札幌市教育委員会の「学生ボランティア事業」や特別支援学校等の学校ボランティア募集を通して、学生が学校現場でのボランティア活動に参加し、実践的な経験を積む機会を提供している。

・北海道教育委員会の協力のもと、北海道の教育に関する理解を深め、教職への意欲を高めることを目的とした教職ガイダンスを開催している。

・令和8年度より、教員養成フラッグシップ大学である大阪教育大学との連携により、連携開設科目を3科目設置している。全国的な教員養成の先導的な取組や最新の教育課題に関する知見に触れることを通じて、広い視野と実践力を備えた教員の養成を推進している。